



木曽広域連合気候非常事態宣言

地球温暖化の進行に伴い世界各地では記録的な豪雨や高温などの異常気象が頻発し、熱波による干ばつや森林火災、海面上昇は世界の国々を脅かし、巨大台風の発生などにより高頻度になっています。

日本国内においても、これまでにない猛暑や巨大化した台風、集中豪雨など気候変動による異常気象が起こり各地で多くの被害が発生し、木曽郡内では、同様の現象に加え2年続きの暖冬となっています。

近年の温室効果ガスの排出量増加による地球温暖化に伴う自然環境の変化には驚かされますが、今、企業などでも再生可能エネルギー100%や温室効果ガス「実質ゼロ」を目指す動きが広がりつつあり、世界では、1,200以上の自治体が「気候非常事態宣言」を行い、脱炭素化を目指す取り組みを始めています。

地球温暖化は、木曽にとっても極めて深刻な脅威であり、日常生活や経済活動で排出される二酸化炭素などの温室効果ガスをできる限り減らすため、私たちが出来る行動を郡民が一体となって取り組むことが最も重要です。

緑豊かな自然に囲まれた木曽は、日本遺産に認定された地域であり、日本有数の水源域でもあります。これを守り抜き後世に引き継ぐことは我々の使命であります。

木曽広域連合と木曽広域連合議会は、温室効果ガスの「排出量縮減」を目指す運動を推進していくため、ここに「気候非常事態」を宣言し、次の活動に取り組みます。

- 1 気候変動を引き起こす地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量を縮減するため、木曽地域の住民一人ひとりが紙類や生ごみ、プラスチック製容器包装等ごみ分別の徹底に努めます。
- 2 資源物の有効活用、リサイクル活動を推進し資源循環型社会の実現を目指します。
- 3 自然環境にやさしい再生可能エネルギーの普及拡大を推進し、省エネルギーへの住民意識を高めます。
- 4 環境に配慮した省エネルギー型施設の整備や設備の導入を促進し、自然エネルギーの有効活用に努めます。
- 5 木曽川上下流域の住民が一体となった森林の適切な管理、保全活動を推進し、森林の持つ水源かん養、国土保全など公益的機能の発揮により、温室効果ガスの排出抑制、災害に強い郷土の形成を目指します。

令和3年2月26日

木曽広域連合長
木曽町長

木曽広域連合議会議長
木曽町議会議長

上松町長

上松町議会議長

南木曽町長

南木曽町議会議長

木祖村長

木祖村議会議長

王滝村長

王滝村議会議長

大桑村長

大桑村議会議長